

令和6年度 松戸市立小金中学校 学習の指針(シラバス)

教科	美術	学年	2年
----	----	----	----

1 学習の目的

- 造形的な視点を理解し、意図に応じて自分の表現方法を追求することができるようにする。
- 豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。
- 主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好し、心豊かな生活を創造していく姿勢を持つ。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	探求と継承(オリエンテーション) 奥行き表現(絵) 明りの形(工芸)	文化に込められた願いをどのように未来に継承するのか考える。 奥行き表現の仕方を学び、制作に生かす。 使う目的や用途から発想し美しい明かりの作品を構想する。
2 学期	ピクトグラムとサイン(デザイン) この場所この場面(彫刻) 絵巻物の世界(鑑賞)	わかりやすく伝えるデザインに関心をもち、主体的に表現する。 場所や場面を空間としてとらえ、材料などを工夫して表す。 絵巻物に関心をもち、主体的に鑑賞する。
3 学期	版表現の可能性(絵) 場と形の響き合い(彫刻)	版表現の技法や効果を理解し、彫りや刷りを工夫して表す。 身近な環境と響き合う彫刻に関心をもち、主体的に取り組む。

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができる。	ワークシート、作品、自己評価表、観察
思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像していくことができる。	

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 美術科の学習について…毎時間の目標を確認し、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組む。
2. 授業のきまり…授業準備を整えて参加する。自他の作品や物は大切に扱う。後片付けまで誠実に。
3. 授業で使う道具…鉛筆(H、HB、2B、4B)、クロッキー帳、水彩色鉛筆、水彩絵の具、タブレット、そのほか各自の制作に必要なと思われるもの。
4. 授業中の少人数学習…題材によって3人から4人のグループで行うことあり。
5. 家庭学習…好きなアニメを模写したり、身近なものを5～10分位でスケッチしたり、気軽に描く習慣を身につけよう。また、タブレットを用いて、コマ撮りアニメなどにもチャレンジしてみよう。可能であれば美術館などで、本物の作品を鑑賞し、鑑賞ノートに記録していこう。